

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 鈴木 晃
TEL098-867-0118 (内線2530)

伊江付近流況調査

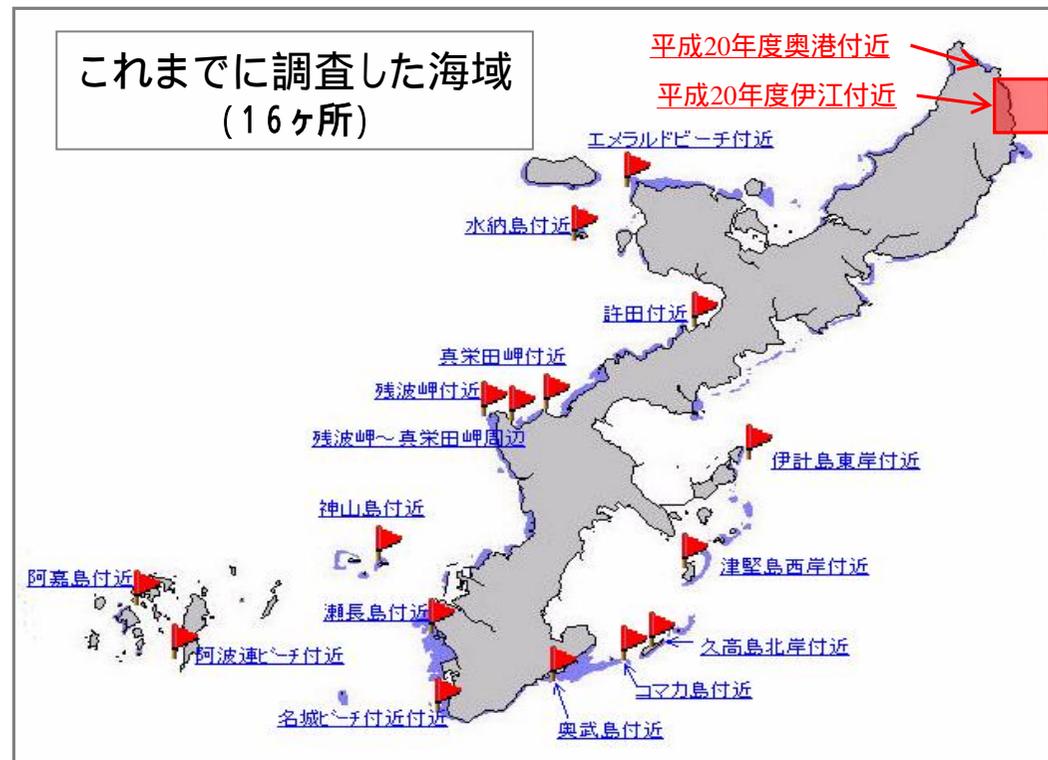
平成20年9月26日
第十一管区海上保安本部

～「リーフカレント」の発生が確認されました～

今年8月18日～21日に実施した伊江付近の観測では、リーフの内側から外側に向かうリーフカレントが確認されました。マリンレジャー等の際には、このような危険な流れ等に十分な注意が必要です。

当本部では、マリンレジャー海域における海難事故防止の一環として、海浜利用者の多い海域、リーフカレントの発生が予想される海域など珊瑚礁付近における流況調査を計画的に実施し、リーフカレント発生状況の把握等に努めています。

今回実施した伊江付近では、平成19年2月及び9月にシュノーケル遊泳中リーフカレントにより戻れなくなった事故が2件発生しています。



結果速報

～「リーフカレント」の発生が確認されました～

【結果概要】

伊江付近（左図「観測海域」参照）で漂流ブイを用いた漂流観測等を行いました。

その結果、リーフ内側から外側に向かうリーフカレントが観測されました。特に高潮から低潮（下げ潮時）にかけて、最大で約30cm/s（時速で約1.1km）のリーフカレントが観測されました。

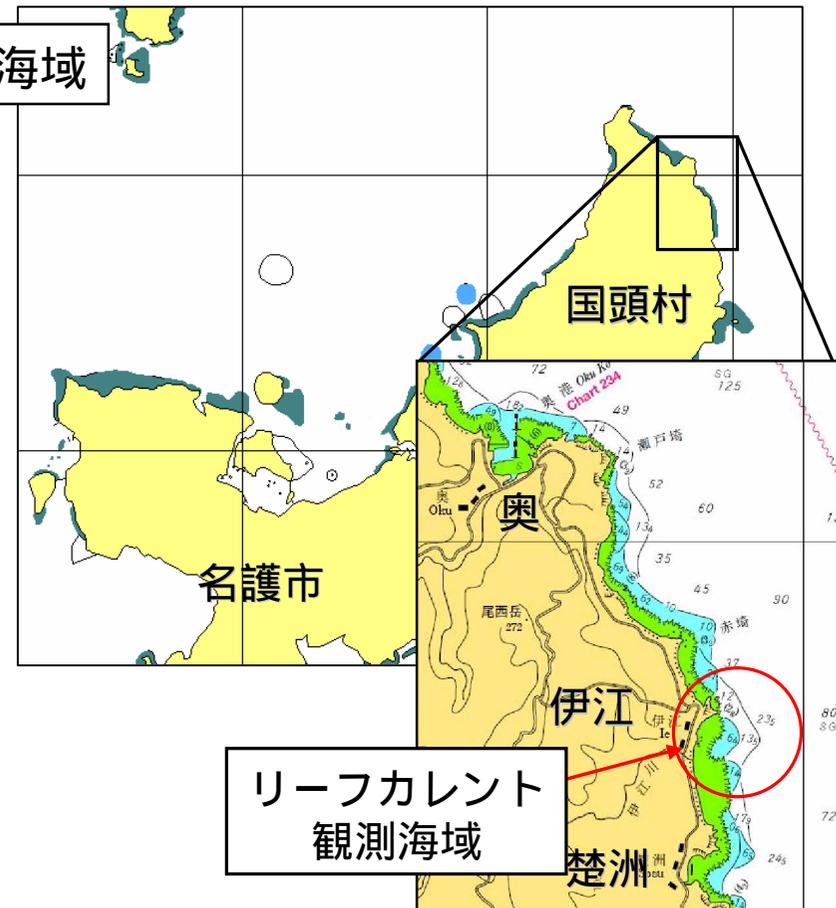
流況調査中においてもシュノーケリングやサーフィン、キャンプ等の様々なレジャーを楽しむ姿が見受けられましたが、本海域は、リーフカレントが原因と思われる海難事故が発生しており、マリンレジャー等の際にはリーフカレントについての注意が必要です。

現在、観測結果を解析中ですが、その結果はインターネットを通じて観測報告として公開します。

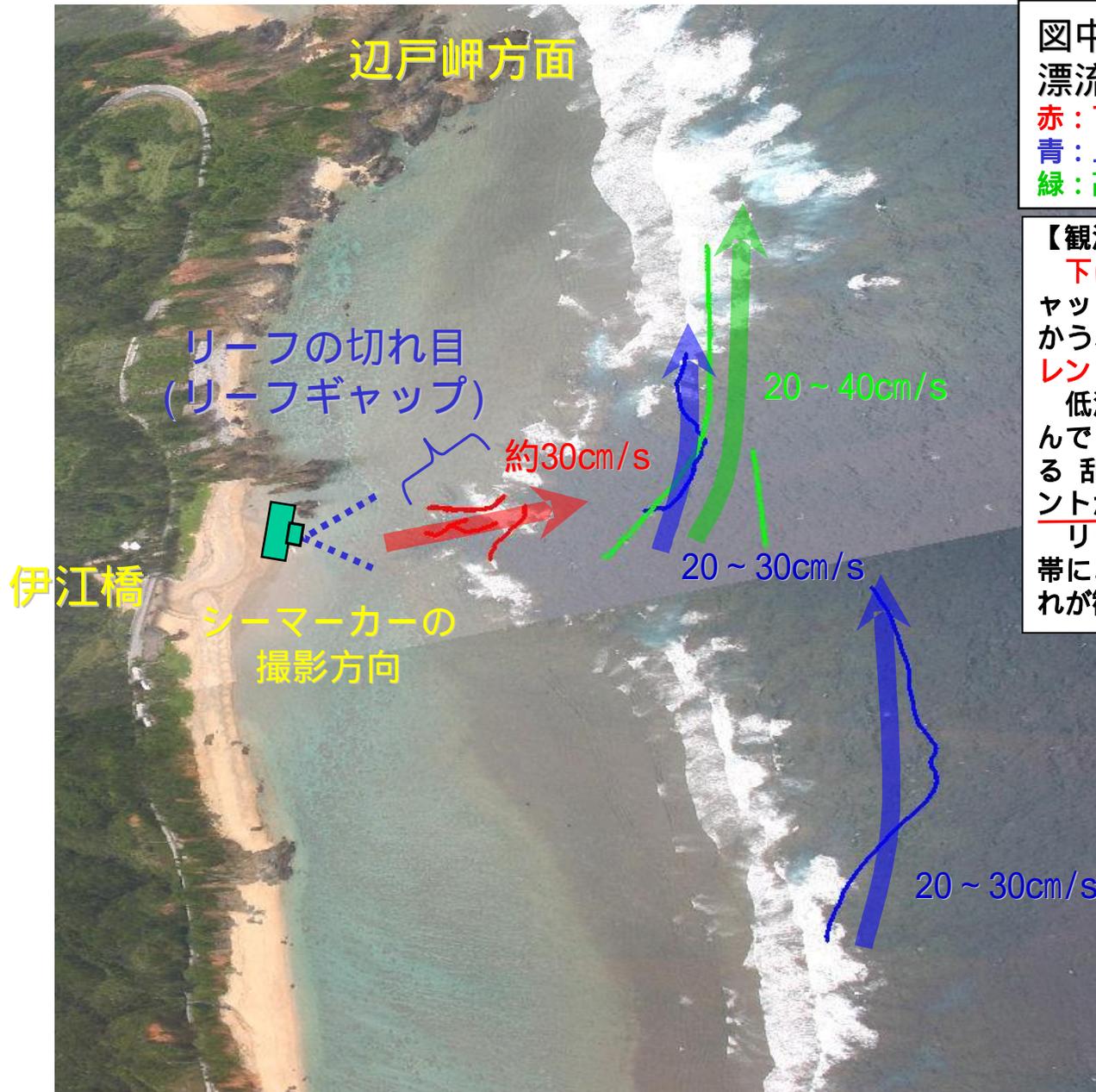
その他、インターネットには、海域毎における様々なリーフカレントに関する観測結果のほか、リーフカレントの発生状況が撮影された航空写真等、リーフカレントに関する情報が多数掲載されていますので、参考情報としてご活用ください。

インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>

観測海域



~漂流ブイのデータから見たリーフカレント等の様子~



図中の細い赤線・緑線・青線は、漂流ブイの実際の漂流経路です。
赤：下げ潮時におけるブイの主な漂流経路
青：上げ潮時におけるブイの主な漂流経路
緑：高潮時におけるブイの主な漂流経路

【観測期間中における概況】

下げ潮時には、リーフの切れ目（リーフギャップ）に沿ってリーフ内からリーフ外に向かう、約30cm/s(時速で約1.1km)のリーフカレントが観測されました。

低潮時は、荒天のため観測が実施できませんでしたが、海面には、流れによると思われる乱れが見られ、より発達したリーフカレントが発生しているものと思われる。

リーフカレント以外の流れとしては、時間帯によっては、北に向かう最大約40cm/sの流れが観測されました。

